

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0097

平成31年度行政事業レビューシート (内閣府)											
事業名	沖縄の酒類製造業の自立的経営の促進に必要な経費			担当部局庁	沖縄振興局			作成責任者			
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定) 年度	平成34年度	担当課室	参事官(調査金融担当)			奥村 徳仁			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「未来投資戦略2017 ―Society 5.0 の実現に向けた改革―」 (平成29年6月9日閣議決定) 「日本産酒類の輸出促進に向けた課題及び対応方針につい て～日本文化と一体でクールジャパンの推進力に～」(平成 29年3月日本産酒類の輸出促進連絡会議) 「経済財政運営と改革の基本方針 2019～「令和」新時代: 「Society 5.0」への挑戦～」(令和元年6月21日閣議決定)						
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	政府は、国家戦略として、「2019 年までに農林水産物・食品の輸出額1兆円」という目標を掲げており、日本産酒類の輸出拡大のため、海外で一定の認知度を得ている日本酒に比べ、まだ輸出面での取組が遅れている泡盛の輸出促進に関する官民を挙げた「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を新たに立ち上げたところ、泡盛酒造所が行う海外展開等の取組を後押しし、もって泡盛酒造所の自立的経営を促進する。										
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	海外への販路開拓などに向けた先導的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造所に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る。										
実施方法	直接実施、委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求				
	予算 の状 況	当初予算	-	-	33	112	162				
		補正予算	-	-	0	0					
		前年度から繰越し	-	-	0	0	0				
		翌年度へ繰越し	-	-	0	0					
		予備費等	-	-	0	0					
		計	0	0	33	112	162				
	執行額		0	0	33						
	執行率 (%)		-	-	100%						
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		-	-	100%						
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由						
	沖縄振興開発調査委託費		110	160							
	職員旅費		2	2							
	計		112	162							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 2 年度	目標最終年度 4 年度
	令和4年に泡盛の輸出量 (30度換算)を100KLまで増 やす。 (平成30年の輸出量は 31KL)		泡盛の輸出量(30度換算)		成果実績	KL(暦年)	-	-	31	-	-
					目標値	KL(暦年)	-	-	-	70	100
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	沖縄県酒造組合集計の泡盛商品輸出量										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
	モデル事業実施件数			活動実績	件	-	-	2	-	-	
				当初見込み	件	-	-	2	7	-	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込		
	執行額(X)／モデル事業実施件数(Y)			単位当たり コスト	百万円	-	-	15.5	15.7		
				計算式	X/Y	-	-	31/2	110/7		

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	泡盛製造業は、製造業の少ない沖縄における貴重な地場産業であり、雇用の確保や離島を含む沖縄の地域経済の振興等に重要な役割を果たしているが、近年、泡盛の出荷量は減少傾向にあり、泡盛酒造所の自立経営は喫緊の課題となっている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	政府は、国家戦略として、「2019 年までに農林水産物・食品の輸出額1兆円」という目標を掲げており、日本産酒類の輸出拡大のため、海外で一定の認知度を得ている日本酒に比べ、まだ輸出面での取組が遅れている泡盛の輸出促進に関する官民を挙げたプロジェクトを新たに立ち上げたところ、国の直轄事業として支援することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	政府は、国家戦略として、「2019 年までに農林水産物・食品の輸出額1兆円」という目標を掲げており、日本産酒類の輸出拡大のため、海外で一定の認知度を得ている日本酒に比べ、まだ輸出面での取組が遅れている泡盛の輸出促進に関する官民を挙げたプロジェクトを新たに立ち上げたところ、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業の趣旨にのっとり、適正かつ効率的な予算執行に努めている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に努めることとしている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	モデル事業の実施に必要な経費のみを対象としている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	随意契約(企画競争)方式により支出先を選定し、経費の削減に努めることとしている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	引き続き事業を行い、成果目標及び成果実績の達成に向けた支援を行う。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みどおりである。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物が広く公表されることにより、事業で得られたノウハウ等が共有された。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	委託費の交付決定時等の節目等に、沖縄総合事務局等との調整を行っている。さらに、委託費の額の確定時に支出当関係書類により適正かつ効率的に執行されていることを確認している。		
	改善の方向性	沖縄の酒類製造業の自立的経営の促進について、引き続き推進していく。		
外部有識者の所見				
点検対象外				

行政事業レビュー推進チームの所見									
現 状 通 り	事業の効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
現 状 通 り	引き続き、事業の効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績も踏まえながら必要な経費を要求している。								
備考									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-		
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	新30-0008		
平成30年度	内閣府（新30 - 0013）								
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）	※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。								
	内閣府 33百万円 事業の企画立案等 職員旅費2百万円 ↓ 【支出委任】 A.内閣府沖縄総合事務局 31百万円 委託費の交付決定等 ↓ 【随意契約（企画競争）】 B.株式会社Blueship沖縄 19百万 委託事業の実施 ↓ 【随意契約（その他）】 D.民間会社等 （4社） 11.6百万 デザイン制作・泡盛製造 用県産長粒種米の栽培等 【随意契約（企画競争）】 C.ピンコウHD株式会社 12百万 委託事業の実施								
費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.沖縄総合事務局			B.株式会社Blueship沖縄					
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）			
	委託費	沖縄の酒類製造業の自立的経営の促進に必要な経費	31	外部委託費	デザイン制作、泡盛製造用県産長粒種米の栽培の実施等	11.6			
				人件費	委託費の実施	4.5			
				旅費	プロモーション、市場調査等の実施	2.2			
				その他	管理費、諸経費	0.9			
	計		31	計		19.2			
	C.ピンコウHD株式会社			D.TEAM Quiver社					
	費目	使途	金額 （百万円）	費目	使途	金額 （百万円）			
	諸経費	製品サンプル制作、印刷製本の実施等	8	諸経費	デザイン制作の実施	6			
旅費	プロモーションの実施	2.7							
その他	管理費	1.1							
計		11.8	計		6				
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載							チェック		

支出先上位10者リスト

A. 沖縄総合事務局

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄総合事務局	2000012010019	沖縄の酒類製造業の自立的 経営の促進に必要な経 費	31				

B. 株式会社Blueship沖縄

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社Blueship 沖縄	8011801027355	委託事業の実施等	19	随意契約 (企画競争)	9	92.6%	-

C. ビンコウHD株式会社

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ビンコウHD株式会 社	4360001021914	委託事業の実施等	12	随意契約 (企画競争)	9	78.7%	-

D. 民間会社等

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	TEAM Quiver社	-	デザイン制作の実施	6	随意契約 (その他)	1	-	-
2	ADKOA社	-	デザイン制作の実施	3.3	随意契約 (その他)	1	-	-
3	沖縄県農業研究セン ター	1000020470007	泡盛製造用県産長粒種米 の栽培の実施	1.2	随意契約 (その他)	1	-	-
4	忠孝酒造株式会社	1360001001415	泡盛製造用県産長粒種米 を用いた泡盛製造の実施	1.1	随意契約 (その他)	1	-	-